hector
Playing Interface

ゲームボーイ™ 専用カートリッジ



取扱説明書

対戦型
1人でも遊べます

キャデラックII

DMG-CAJ

このたびは、ヘクトの任天堂ゲームボーイ用カートリッジ「キャデラックⅡ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でお楽しみください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管し、紛失されぬようお願いいたします。

目次

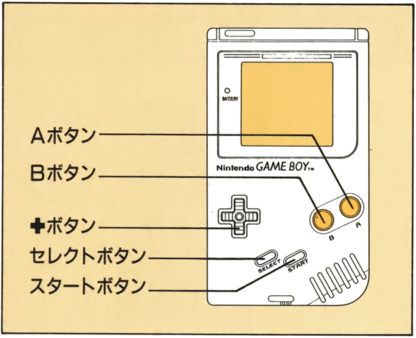
Welcome to

CADILLAC WORLD



キャデラックの世界へようこそ。ゲームの目的は、カードをコントロールして、ポーカーの役を作ること。各ラウンドで目標ポイントをクリアすると、次のレベルに進めるよ!!

コントローラーの名称と使い方



✚ボタン

ゲームを始める前は、ゲームのモードの選択やレベルの設定に使用します。

プレイ中は、カードの左右のコントロールに使用します。また、下を押すとカードを速く落とすことができます。

Aボタン

ゲームを始(はじ)めるときや次(つぎ)のラウンドに進(すす)むときのほか、ゲーム中(ちゅう)に押(お)すとカードの動(うご)きを止(と)めることができます。

Bボタン

1人(り)プレイと対戦(たいせん)ゲームAタイプで、落(お)ちてくるカードの順番(じゅんばん)を入(い)れ替(か)えるときとラウンド終了後(しゅうりょうご)リプレイを選(えら)ぶときに使用(しよう)します。

スタートボタン

ゲームを始(はじ)めるときに使用(しよう)します。

また、ゲーム中(ちゅう)に押(お)すと、ゲームを一時中断(いちじちゅうだん)することができます。

セレクトボタン

プレイするゲームのモードを選(えら)ぶときに使用(しよう)します。

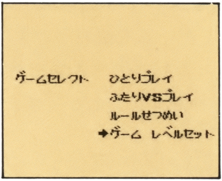
ゲーム中(ちゅう)には、使用(しよう)しません。

ゲームのスタート



ゲームボーイの電源を入れ、Nintendoのロゴマークが出たらスタートボタンを押してください。ゲームが始まります。

レベルセット



右のゲームセレクト画面で、ゲームのモードを選びます。

また、これからプレイするゲームのレベルを設定することもできます。「ゲームレベルセット」を選んで、レベル1から5の間に設定します。

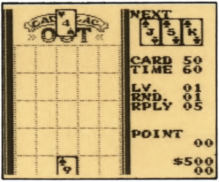
レベル設定項目

全部で10のレベルがあります。各レベルは下の表のとおりに条件が設定されています。各項目について詳しくは、次のページをご覧ください。

レベル	見せカード数	ポーズ時間	落下スピード	ハンディカード数	リプレイ回数	アンティ	レベルクリア点数
1	3	60	1.0	0	5	500	500
2	3	40	1.0	0	4	500	1000
3	3	20	1.0	0	3	500	2000
4	3	15	1.0	0	2	500	2000
5	2	15	1.0	2	1	1000	3000
6	2	10	1.0	3	1	2000	3000
7	2	10	1.5	3	1	2000	4000
8	1	5	1.5	5	0	3000	4000
9	1	0	2.0	7	0	3000	4000
10	1	0	2.0	7	0	5000	—

レベル設定表解説

見せカード



画面右上に次に落ちてくるカードが見えています。これが「見せカード」です。

ポーズ時間

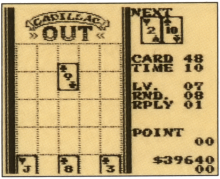
カードの動きを止めることができる、Aボタンのポーズの制限時間です。単位は秒で、画面右上にＴＩＭＥと表示されています。0になると、このポーズは使えなくなります。

落下スピード

カードが落ちてくるときの、落下スピードです。レベル1との比較で表しています。レベル6までは変わりませんが、レベル７、8では1.5倍、レベル9、10では２倍になります。

ハンディカード

ラウンドが始まったとき、すでにマス目の上に置かれているカードのことです。枚数で表しています。



リプレイ

レベルクリアができなかったときにリプレイ(20ページ参照)ができる回数です。画面右中ほどにＲＰＬＹと表示されています。

アンティ

各ラウンドごとに必要なゲームの参加料をアンティといいます。単位はドルです。

レベルクリア点

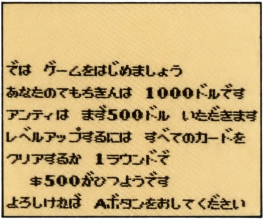
１ラウンドで、この点数以上得点ができたときに、次のレベルに進むことができます。

1人プレイ

カードを並べてポーカーの役を作り、レベル10のクリアを目指そう。Bボタンのカード交換が高いポイントの役を作る秘訣だよ。

ゲームスタート

ゲームセレクト画面で「ひとりプレイ」を選び、Aボタンを押すと右の画面にかわり、ゲームが始まります。



持ち金とアンティ

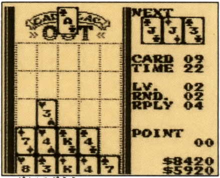
プレイヤーは、1000ドルを持ってゲームを始めます。このなかから各ラウンドごとに、アンティ――ゲームの参加料を支払います。

２つのポーズ機能

『キャデラックII』には２つのポーズ機能があります。状況に応じて使い分けてください。

カードを止めて考える

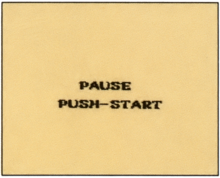
Ａボタンを押すと、画面が見えたまま、カードの動きを止めることができます。ただし、このポーズが使える時間には限りがあります。



画面右上のＴＩＭＥが0になると、このポーズは使えません。

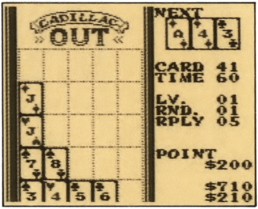
ゲームを中 断したいとき

もう１つは、ゲームを中断するときの、普通のポーズです。スタートボタンで実行と解除ができます。

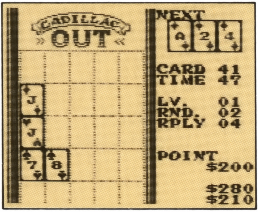


ポーカーの役を作ろう

ゲームの目的は、タテやヨコにカードを並べてポーカーの役を作ること。役ができるとポイントになり、カードは消えます。



一番下の段に４枚のストレートができた。



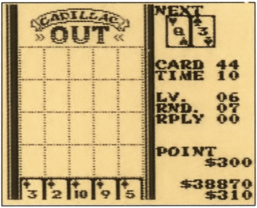
カードは消え、ポイントになる。次に上のカードが落ちてくる。

こんな役がポイントになる

プレイヤーの得点になるのは、3～5枚のカードを使ったポーカーの役です。作り方は以下のページをご覧ください。

フラッシュ

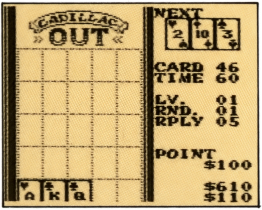
◆◆◆や♣♣♣のように同じマークが3枚以上揃うとフラッシュという役になります。『キャデラックII』の場合、最も作りやすい役ですが、ポイントも低いので、フラッシュばかりねらっていると、なかなか先のレベルには進めません。



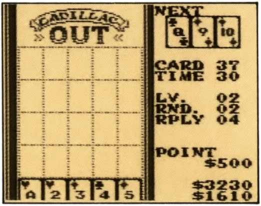
◆が5枚ヨコに並んだ。フラッシュのできあがり。

ストレート

カードが順番に並んだ役をストレートといいます。QKA2や9876のような並び方も役になりますが、6879のように順序が正しくなければ役になりません。



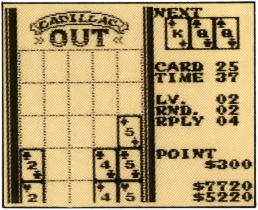
AKQと並んだストレート。大きい数字から逆に並んだ場合も役になる。



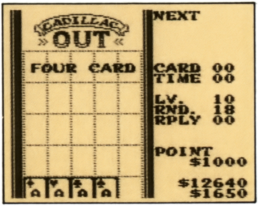
Aから5までがきれいに並んだストレート。500ドルの得点になる。

スリーカード／フォーカード

同じ数字のカードが３枚揃うとスリーカード、４枚揃うとフォーカードという役になります。なお、ペア（２枚揃い）は対戦プレイのときだけ役になります。



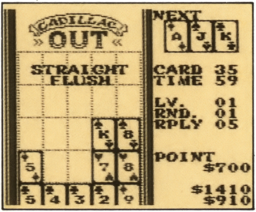
タテに５のスリーカードができた。工夫すれば、フォーカードもタテに作れるよ。



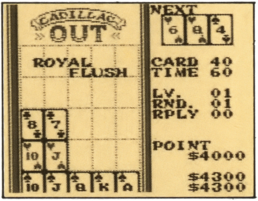
ヨコにエースのフォーカードが完成した。Bボタンをうまく使うのがポイントだよ。

ストレートフラッシュ

同じマークのカードで作ったストレートがストレート・フラッシュ。10 J Q K Aの5枚が揃うとローヤルストレートフラッシュという最高のポイントの役になります。



♣の5 4 3 2と揃ったストレートフラッシュ。



♠のローヤルストレートフラッシュができた。

役とポイント

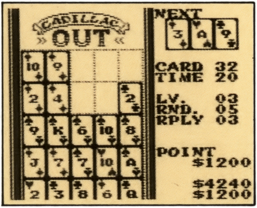
下の表は、１人プレイのときの役とポイントです。

対戦プレイの得点は27ページの表をご覧ください。

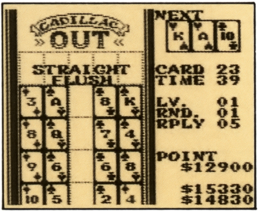
役カード数	役　　名	得　点
3枚	フラッシュ	10
	ストレート	100
	スリーカード	300
	ストレートフラッシュ	500
4枚	フラッシュ	100
	ストレート	200
	フォーカード	1000
	ストレートフラッシュ	700
5枚	フラッシュ	300
	ストレート	500
	ストレートフラッシュ	2000
	ローヤルストレートフラッシュ	4000

役を組み合わせてポイントアップ

同時にいくつかの役ができると、そのカードの合計の枚数によってポイントがグーンとアップします。



同時にヨコに5枚のフラッシュとタテに3枚のストレートができた。

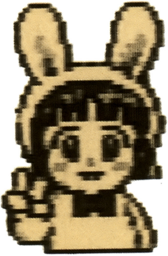


同時に15枚のカードの組み合わせで役ができた。合計の点数の10倍にもなったよ。

組み合わせ数と倍率

組み合わせに使ったカードの数と倍率は、下の表のような関係になっています。

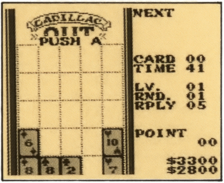
カード組み合わせ数	倍率
6枚	2倍
7枚	3倍
8枚	5倍
9枚	6倍
10枚	7倍
11枚	8倍
12枚以上	10倍



ラウンドの終了

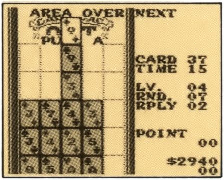
1回のプレイをラウンドといいます。ラウンドが終わるのは次の2つの場合があります。

52枚のカードがすべて落下



トランプの一組52枚がすべて落ちるとラウンドの終了です。画面のCARDの表示が0になります。

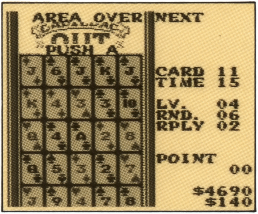
6段目にカードを乗せてしまう



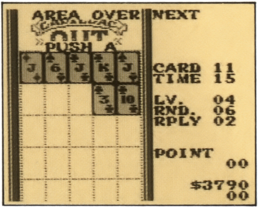
カードをうっかり6段目に乗せてしまうと、その時点でラウンドは終了してしまいます。

ペナルティ

ラウンドが終了したときに画面にカードが残っていると、ペナルティとして、カード1枚につき50ドルが減点されます。



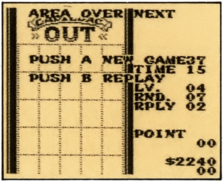
6段目にカードを乗せたときは、マス目のなかのすべてのカードについて減点される。



ラウンド終了後Aボタンを押すと、カード1枚につき50ドルが減点されていく。

リプレイ

ラウンド終了した後に、もう一度同じカードの順番で挑戦するのがリプレイ。右の画面で、Bボタンを押してください。リプレイができる回数は画面右にRPLYと表示されています。



ゲームオーバー

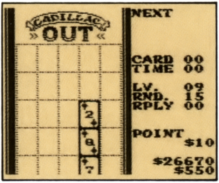
アンティが支払えないと、次のラウンドに進むことができないのでゲームオーバーとなります。せっかくレベルアップしても、ポイントが少ないと、ゲームオーバーになってしまうこともあります。



レベルクリア

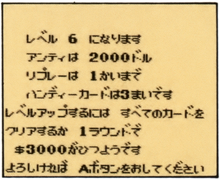
レベルをクリアし、次のレベルに進むのには次の２つの方法があります。

52枚のカードをすべてクリア



１ラウンドの52枚のカードを１枚も残すことなく消すことができた場合。

目 標ポイントをオーバーする



レベル１から９までは、各レベルの目標ポイント以上の得点ができた場合も次のレベルに進めます。

2人対戦プレイ

通信ケーブルで2台のゲームボーイを接続すると、交互にカードをコントロールしてポイントの合計を競う対戦プレイを楽しむことができます。

先攻と後攻

ゲームは、セレクト画面で「ふたりVSプレイ」を選んだ方が先攻でスタートします。2ラウンド以降は、得点の低いプレイヤーが先攻になります。

レベルを設定する

また、プレイを始める前にセレクト画面でレベルを選んでおくと、そのレベルで対戦ができます。ゲーム中にレベルアップすることはありません。

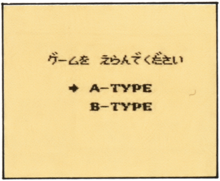
対戦ゲームのレベル設定項目

対戦プレイのレベルで設定されている項目は、下の表のとおりです。ハンディカードやリプレイなどはありません。

レベル	ポーズ時間	スピード
1	60	1.0
2	30	1.0
3	30	1.5
4	0	1.5
5	0	2.0

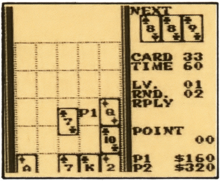
ゲームのタイプを選ぶ

対戦プレイには、A、B 2つのタイプがあります。



セレクト画面で対戦プレイを選んだ後、右の画面でゲームのタイプを選び、A ボタンで対戦開始。

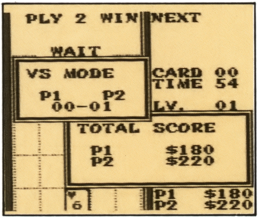
Aタイプのゲーム



2台のゲームボーイで交互にカードをコントロールします。Bボタンでカードの交換もできます。

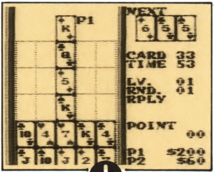
得点表示

ゲーム中には、そのラウンドの得点が表示されていますが、ラウンドが終了すると、下の得点表示画面にかわり、左上には2人の対戦成績が、その右下にはそれまでの得点の合計が表示されます。

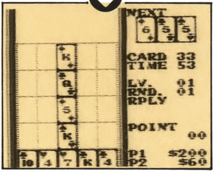


6段目にカードを乗せると

1人プレイの場合と一番違うのがここです。6段目にカードを乗せると、マス目上のカードは1段ずつ下がり、1段目のカードは消えてしまいます。



6段目にカードを乗せてしまうと…



カードは1段ずつ下がり、1段目のカードは消える。

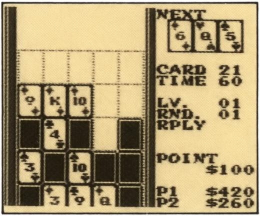
ゲームの継続

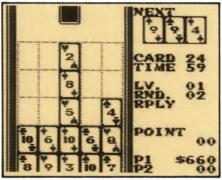
得点表示の画面でAボタンを押すと次のラウンドに進みます。これを繰り返し、ゲームの継続をします。

Bタイプのゲーム

Bタイプでは相手のカードは裏返しに落ちてきます。ただし、落ちる前は見えているので、記憶力が必勝のポイントになります。

でも、役ができたときや、6段目にカードを乗せたときにカードが落ちると表を向きます。





6段目に乗せたら、カードはすべて表を向いてしまった。

対戦ゲームの役とポイント

対戦プレイの役とポイントは下の表のとおりです。A、Bどちらのタイプのゲームも得点は共通です。また、対戦プレイでは2枚同じカードが揃うペアも役になります。

役カード数	役　名	得　点
2枚	ペア	60
3枚	フラッシュ	100
	ストレート	200
	スリーカード	300
	ストレートフラッシュ	500
4枚	フラッシュ	200
	ストレート	300
	ストレートフラッシュ	700
5枚	フラッシュ	400
	ストレート	500
	ストレートフラッシュ	2000
	ローヤルストレートフラッシュ	4000

おことわり

プログラムの都合上、以下のケースでは、得点の計算の方法が例外となることをご了承ください。

1．4～5枚のカードでストレートフラッシュとストレートまたはフラッシュが組み合わされた場合に、3枚のストレートやフラッシュのポイントが減点されます。

2．78987のように、ヨコ1段に2組のストレートやフラッシュが同時にできた場合は、右側のストレートのポイントはカウントされません。

●使用上の注意

1）長時間ゲームをするときは、健康のため約２時間ごとに10分から15分の小休止をしてください。

2）精密機械ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解したりしないでください。

3）電源スイッチをむやみにＯＮ・ＯＦＦしないでください。また電源スイッチをＯＮにした状態で、外部電源端子からＤＣプラグを抜き差ししないでください。

4）電源スイッチをＯＮにした状態で、乾電池がなくなるまで放置しないでください。

5）端子部に触れたり、水に濡らさないようにしてください。故障の原因となります。

6）シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発油でふかないでください。

発売元
株式会社 ヘクト

〒102千代田区平河町1-5-13平河町UTビル
PHONE.03-5275-5481㈹
FAX.03-5275-3544